

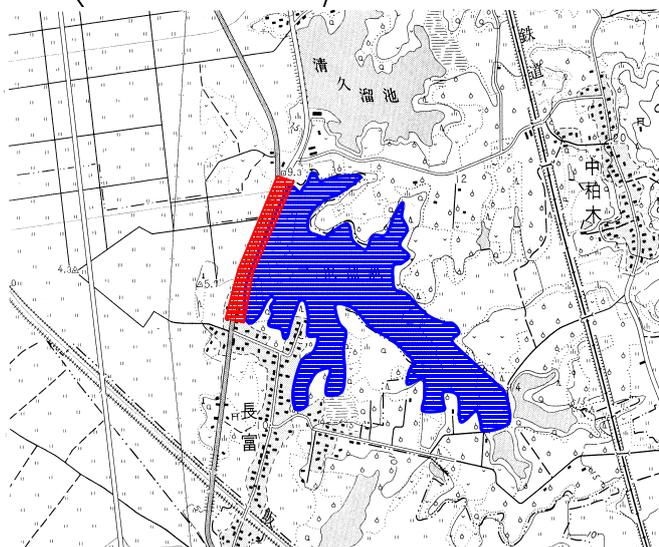
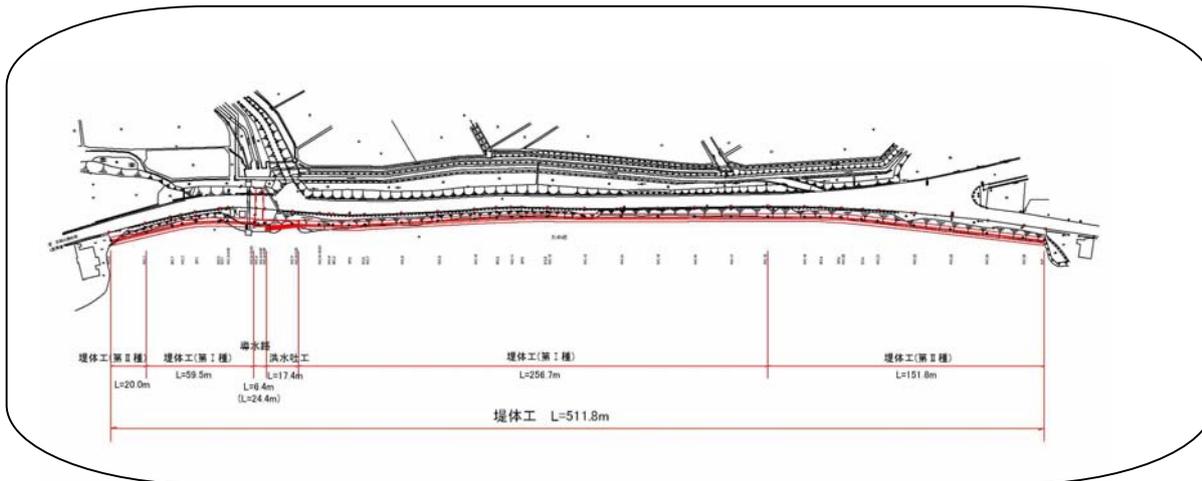
## 環境配慮工事データベース

作成(更新)年月日

平成19年4月25日

事業名	ため池等整備事業	地区名	二ノ沢	市町村名	五所川原市		
工種	ため池						
配慮事項区分	生態系の保全	施工年度	平成18～22年度予定				
農業地域類型	平地農業	地形勾配	1/1,000以下				
事業による影響	工事中の生息場所の制限						
配慮施設に対する 保全対象生物の 選定及び選定理由	魚介類、底生動物、植 物、鳥類、両生・爬虫 哺乳類、陸上昆虫類	調査により生息が確認された生物					
保全対象生物の生活史等から見た配慮事項							
配慮施設の構造等 を検討する際に留意 した事項	ため池全体が多様な動植物の生息場所となっている。特にホロムイイチゴは県の最重要希少野生生物で五所川原市の天然記念物に指定されている。 本事業では堤体改修及び洪水吐の新設を行うが、その施工範囲は必要最小限になるよう努める。						
配慮施設の位置を 決定する際に留意 した事項	配慮施設なし						
環境配慮5原則区分	最小化						
配慮施設の構造		施設の設計条件等					
施設名称	二ノ沢ため池	用水期間	代掻き期	-			
箇所数 延長	L=511.8m		普通期	-			
			非灌漑期	-			
主要構造	コンクリート矢板	配慮施設の非灌漑期の 水の有無、確保状況			有		
		水深(cm)		流速(m/s)		流量(m <sup>3</sup> /s)	
		1.用水路		1.用水路		1.用水路	
		代掻き期		代掻き期		代掻き期	
		普通期		普通期		普通期	
		非灌漑期		非灌漑期		非灌漑期	
		2.排水路		2.排水路		2.排水路	
1/2流量		1/2流量		1/2流量			
護岸	コンクリート矢板	1/10流量		1/10流量		1/10流量	
		非灌漑期		非灌漑期		非灌漑期	
施設底	土砂	水路勾配		護岸勾配 土羽勾配			
		施設諸元					
二次製品 使用有無	有						

施設平面図及び構造図



施設写真

写真説明

環境配慮施設の設計条件等の決定根拠・参考文献						
施設の構造・規模の決定根拠等					参考文献(引用、出典)	
堤体改修及び洪水吐の新設に関し、その施工範囲は必要最小限になるよう努める。						
モニタリング						
区分	調査有無	調査の種類	時期	回数	調査方法	施設の状況
施工前	有	魚介類、底生動物、植物、鳥類、両生・爬虫・哺乳類、陸上昆虫類	H18	2回 (7~12月)	タモ網、目撃法等	土砂堆積:有
施工中						
施工後						
工事中の 一時的 避難	避難有無					
	無					
モニタリング 結果概要	施工前	魚介類 : 確認種-8種、希少種-メダカ、モノアラガイ 底生動物 : 確認種-7種、希少種-モノアラガイ 植物 : 確認種-184種、希少種-ホロムイチゴ、タムキモ、エゾナミキソウ 鳥類 : 確認種-39種、希少種-カムリカイツブリ他5種 両生・爬虫・哺乳類 : 確認種-2種、希少種-なし 陸上昆虫類 : 確認種-15種、希少種-なし				
	施工中					
	施工後					
モニタリング結果からの評価		工事の施工範囲は必要最小限になるよう努める。ため池の水抜きは最小限かつ部分的に行うことが望ましい。改修は段階的に行い生物の移動時間の確保に努めること。				

営農を考慮した工法の検討	
営農上の課題、農家の意見・要望	左に対する工法等の工夫点 その他の課題
維持管理を考慮した工法の検討	
維持管理上の課題	左に対する工法等の工夫点 その他の課題
環境配慮施設の施工面での留意点、工夫点	
留意点	特になし
工夫点	特になし
環境配慮施設の今後の維持管理方法	
留意点	特になし
環境配慮施設の工事費 (諸経費を含む)	なし
実施設計担当者職氏名	主幹 奈良 港
工事実施担当者職氏名	主幹 奈良 港、主査 工藤保、技師 木村康祐
施工後モニタリング担当者職氏名	主幹 奈良 港、主査 工藤保、技師 木村康祐
データベース作成(更新)者職氏名	主幹 奈良 港

モニタリング結果一覧

改修前調査結果

項目	魚介類	底生動物	植物	鳥類	両生・爬虫・哺乳類	陸上昆虫類
現地調査内容	タモ網 【2地点×各2回】 調査地区・箇所の把握 同定・計測 写真撮影	定性採取 【2地点×各1回】 調査地区・箇所の把握 写真撮影	植生図作成調査(草地) 植物相調査(草地) 【20ha×1回】 写真撮影 同定	定位記録法【2回】 写真撮影	目撃法 【2地点×各1回】 写真撮影 同定・計測	目撃法 【2地点×各1回】 写真撮影
調査日	平成18年7月26日 平成18年9月8日	平成18年7月26日	平成18年7月22-23日 平成18年9月23日	平成18年9月2日 平成18年12月2日 平成18年11月15日	平成18年9月8日	平成18年9月8日
調査担当者	(株)環境工学 清水司 (株)環境工学 古川真樹 (株)環境工学 佐藤寛文 (株)環境工学 山田崇雄 (株)環境工学 八木橋尚紀	(株)環境工学 清水司 (株)環境工学 古川真樹 (株)環境工学 山田崇雄	(株)環境工学 清水司 盛岡大学短期大学部 教授 齋藤宗勲 (株)環境工学 山田崇雄	(株)環境工学 清水司 日本野鳥の会 弘前支部長 小山信行 (株)環境工学 山田崇雄	(株)環境工学 清水司 (株)環境工学 佐藤寛文 (株)環境工学 山田崇雄 (株)環境工学 八木橋尚紀	(株)環境工学 清水司 (株)環境工学 佐藤寛文 (株)環境工学 山田崇雄 (株)環境工学 八木橋尚紀
調査結果	[確認種] 魚類：3科5種 エビ・カニ・貝類：3種 [希少種] メダカ、モノアラガイ	[確認種] 4綱7目7科7種 (種名まで確認されたもの) [希少種] モノアラガイ	[確認種] 70科153属184種 [希少種] ホロムイイチゴ、 タヌキモ、 エゾナミキノソウ	[確認種] 20科39種 [希少種] シシトマリ、カワ、ヨシゴイ、 ヒシガ、ハビ、ウガモ、 チウケ、ツバキ	[確認種] 両生類：1科1種 爬虫類：1科1種 哺乳類：なし [希少種] なし	[確認種] 6目11科15種 (種名まで確認されたもの) [希少種] 確認された種ではなし
評価	メダカについては、農業等の化学薬品の傾向があるが、現状で生息が確認されていることから、今後周辺に農薬が著しく悪化したりしない限りは絶滅の危険性は少ないと考えられる。モノアラガイについては農業による水質の悪化や水路の改修等で近年生息数の減少が言われているが、県内では比較的頻繁に確認することができ、極端な水質の悪化や、水深・底質などの急激な生息環境の変化がなければ、現時点においては絶滅の危険性は少ないと考えられる。	モノアラガイは、農薬等の化学薬品に弱い傾向があるが、現状で生息が確認されていることから、今後周辺に農薬が著しく悪化したりしない限りは絶滅の危険性は少ないと考えられる。モノアラガイについては農業による水質の悪化や水路の改修等で近年生息数の減少が言われているが、県内では比較的頻繁に確認することができ、極端な水質の悪化や、水深・底質などの急激な生息環境の変化がなければ、現時点においては絶滅の危険性は少ないと考えられる。	西側に浮かぶ最大の浮島の浮島内から形成されているミズゴケから成る高層湿原は植生上高い価値をもっている。またこの中に生育するホロムイイチゴの群生も希少価値の高い群落である。高層湿原は水位条件に敏感であり、乾燥化すれば絶滅する危険性が極めて高い。	池畔には抽水植物が繁茂していることから、それらが鳥類の営巣地、さらにはため池外部からの視界をさえぎる目的の役目を果たしている。また、確認された希少種は、ため池を休息地、生息地として利用しているものもあると考えられる。	確認された種に関しては、津軽地域の水田地帯で通常確認できる種であり、事業計画が広範囲にあることから、両生・爬虫・哺乳類及び陸上昆虫類に対する影響は少ないと考えられる。	確認された種に関しては、津軽地域の水田地帯で通常確認できる種であり、事業計画が広範囲にあることから、両生・爬虫・哺乳類及び陸上昆虫類に対する影響は少ないと考えられる。
環境保全に対する配慮	多自然型ブロックや自然石による護岸をすることで空隙がある構造とし、植物を生えやすくすることが望ましいとされる。また、岸辺の植物の生育を制限し、最小限の範囲で堤体の改修を行うことで、魚介類・底生動物に対する影響は小さいものと考えられる。	工事等に伴うため池の水位低下は、浮島が乾燥化しない程度に配慮することが不可欠であると思われる。よって、工事に伴うため池の水抜きは、最小限の範囲で部分的に行うことが望ましいと考えられる。	改修工事は、5～8月の繁殖期、カキ類の冬場の飛来時期を避けること及び池畔の植物を出来る限り残した、水生生物にやさしい仕様で対応する必要があると考えられる。	改修工事は、5～8月の繁殖期、カキ類の冬場の飛来時期を避けること及び池畔の植物を出来る限り残した、水生生物にやさしい仕様で対応する必要があると考えられる。	改修を段階的に行うことにより影響を軽減できると考えられる。ことにより影響を軽減できると考えられる。	改修を段階的に行うことにより影響を軽減できると考えられる。ことにより影響を軽減できると考えられる。

その他特記事項

改修前調査状況写真



魚介類調査



両生・爬虫・哺乳類調査



鳥類



植物調査